

NEWSLETTER No.124
ISSN 1340-5578

TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
The Society for Research in Asiatic Music

May 30, 2025

一般社団法人
東洋音楽学会

会報

第**124**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会

事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : <http://tog.a.la9.jp>

目次

第76回大会のご案内.....	1	ICTMD (国際伝統音楽舞踊学会) に関するお知らせ....	6
第76回大会の研究発表募集	2	東洋学・アジア研究連絡協議会主催国際会議の企画募集	6
第42回田邊尚雄賞授賞発表	2	RILM (音楽文献目録) 委員会からのお知らせ	6
第43回田邊尚雄賞アンケートのお願い.....	3	東日本支部からのお知らせ	7
日本学術振興会育志賞の学会推薦について	3	水野信男氏の思い出.....	7
会員の受賞.....	3	会員異動	8
第26回通常理事会議決事項のお知らせ.....	4	図書・資料等の受贈.....	8
令和7年度以降の定例研究会について	4	新刊書籍	9
名簿情報登録フォーム回答のお願い (全会員)	4	新発売視聴覚資料	10
会報の郵送停止とメール配信への移行について	5	編集後記	10
会費納入のお願いと大学院生会費割引のお知らせ	5	第26回通常理事会添付書類.....	11
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	5		

第76回大会のご案内

一般社団法人東洋音楽学会は、令和7年度の研究発表大会および公開講演会を以下の通り開催します。多くの会員のご参加をお待ちしております。

※今回は、研究発表と公開講演会等の順序が例年と異なりますので、ご注意ください。

◇日時 2025年11月29日(土)～30日(日)

◇会場 沖縄県立芸術大学当蔵キャンパス
〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

◇日程

〔第1日〕11月29日(土) 於：一般教育棟3階

13:00 開会挨拶

13:05～16:35 研究発表(個人、共同、映像)

16:45 第42回田邊尚雄賞授賞式

17:10 田邊尚雄賞祝賀茶話会
(時間は予定)

〔第2日〕11月30日(日) 於：一般教育棟3階、奏楽堂ホール

9:00～10:40 研究発表(個人、共同、映像)

11:00 公開講演会

「伝世する古楽器の保存と活用 ―紀州徳川家楽器コレクションを例に―」(仮題)

講演者：日高薫(非会員、国立歴史民俗博物館)

コメンテーター：前原恵美

司会：高瀬澄子

13:30 公開演奏会「北宮十二頌曲」

出演者：新垣俊道(非会員、野村流保存会師範)ほか

解説：遠藤美奈

※共催：沖縄県立博物館・美術館

15:00 第14回定時社員総会

16:00 閉会挨拶

（時間は予定）

◇参加費等

参加費 正会員：4,000円、早割3,500円

正会員のうち大学院生（修士課程・博士課程・研究生在籍者）・学生会員：2,000円、早割1,500円

非会員（研究発表のみ）：4,000円

学生非会員（研究発表のみ）：2,000円

◇大会実行委員会

遠藤美奈 古謝麻耶子 高瀬澄子（実行委員長） 塚原健太
長嶺亮子 前原恵美 三島わかな 早稲田みな子

第76回大会の研究発表募集

第76回大会における研究発表を下記の要領で募集します。
今大会には、統一テーマを設けておりません。会員の多彩な
内容の発表を期待します。なお、研究発表の日時は大会実行
委員会にご一任ください。

◇発表形態

A 個人発表：口頭発表（発表20分＋質疑応答10分）

B 共同発表：共同セッション、パネルディスカッション等
（60分または90分、90分の場合は3人以上、質疑応答を含
む）

C 映像発表：30分以内の映像作品（著作権が発表者に属す
るもの、あるいは使用に当たって著作権者の許諾を得ている
もの）

◇申し込み方法

学会ウェブサイト「大会案内」より、「東洋音楽学会第76
回大会発表申込書」をダウンロードし、大会実行委員会まで
電子メールにてお申し込みください。電子メールの件名は、
「東洋音楽学会第76回大会発表申し込み」としてください。

東洋音楽学会第76回大会実行委員会

メールアドレス：tog76taikai@gmail.com

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

沖縄県立芸術大学音楽学部 高瀬研究室 気付

申込締め切り：2025年6月30日（月）必着（厳守）

発表申し込みを受領してから2～3日以内に、その旨を電

子メールで通知いたします。発表申込み後1週間を過ぎても
受領通知がない場合は、至急、上記の大会実行委員会までご
連絡ください。

◇採否

申し込み締め切り後、大会実行委員会が審査を行った上で
決定し、結果を電子メールで通知いたします。

◇備考

本学会の大会発表では会報にレポートが掲載されます。そ
のため記録用の録音を取ることをご了承ください。なお、会
報レポート以外の用途での録音や撮影は発表者本人の許可を
得てください。

ご質問は、大会実行委員会メールアドレス
(tog76taikai@gmail.com) までご連絡ください。

第42回田邊尚雄賞授賞発表

第42回田邊尚雄賞は、下記のように決定いたしました。

【受賞者・授賞対象】

1. 柴佳世乃『仏教儀礼の音曲とことば—中世の〈声〉を聴く—』
（法蔵館、2024年2月28日発行）ISBN978-4-8318-6283-9

2. 山田淳平『近世の楽人集団と雅楽文化』（吉川弘文館、
2024年5月1日発行）ISBN978-4-642-04363-2

【選考経過】

対象期間中に刊行された会員の業績15作のうち、授賞候補
としての要件を満たす14点を選考対象とし、回覧・精読を行っ
た。第一次選考（2025年2月16日）で上位6作に絞り込み、3月
9日にzoomで開催した第42回田邊尚雄賞選考委員会において
慎重に審議した結果、上記2件が授賞にふさわしいとの結論に
達した。

【授賞理由】

1. 柴佳世乃『仏教儀礼の音曲とことば—中世の〈声〉を聴く—』

本書は、著者の二十年来の思索のなかでたどり着いた「こと
ばと音曲とは不可分に結びついている」という観点から、中世
の仏教儀礼の実態と歴史的意味を考察し、立体的に理解しよ
うとする労作である。三部構成の同書では、まず中世において
〈声〉（音声）への社会的関心が高まる様子を仏教儀礼とその
周辺芸能に関する史料の考察から読み解く。その後、仏教儀礼
の重要な部分を担う読経と唱導それぞれの音曲とことばにつ
いて、より深く考察する。

日本文学を専門領域とする著者の実証的文献研究に基づいた着実な分析と論述がなされているが、各章の構成に強い関連性は見出し難く、各々独立した論文として成立しているようにも読める。しかしながら、中世における〈声〉の問題を解き明かしたいという著者の一貫した思いを汲み取ることができる。さらには、例えば音声の記述による正統性や権威性の獲得など、儀礼研究の議論にも通じる普遍的な問い立てを見出すことができる。

以上のように、本書は著者の長年の探索によってもたらされた独自の視点と量・質ともに豊かな史資料に基づく精緻な分析と検討、さらには確実な筆致による刺激的な著作であり、田邊尚雄賞に相応しい好著である。

2. 山田淳平『近世の楽人集団と雅楽文化』

本書において著者は、近世雅楽史の先行研究を的確に批判したうえで、専門の芸能者と素人の門弟の間をつなぐ媒介・回路の諸相とそれらが全体としてどのような文化・芸能分野を構築しているかを描こうとする。この問題意識のもと、日記をはじめとした多数の史料を駆使し、雅楽文化が量的にも質的にも拡大・深化していった近世という時代における地下楽人の社会的動向を、多角的に描き出すことに成功している。

日本史学の正統的な方法論を用いて精緻な分析と議論が進められた点を評価する一方で、音楽学的な視点から見た物足りなさや、近世の雅楽文化の全体像とその意義をより踏み込んで追究してほしかったとの指摘もあった。しかしながら、本書の貢献は近世の雅楽文化そのものが拠って立つ土台を明らかにしたところにある。本書が博士論文に基づく著作であることから、今後のさらなる研究の深化や視野の広がりが期待される。

以上のように、本書は明確な研究の目的と多様な史料、精緻な分析と筆致に支えられ、新たな観点から近世の雅楽文化像の再構築に真摯に取り組んだ、田邊尚雄賞に相応しい好著である。

選考委員：海野るみ(委員長)、奥中康人、高瀬澄子、田中有紀、濱崎友絵

第43回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第43回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせ下さい。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2025年1月1日～12月31日の発行物

受付期間：随時。締切は2026年2月上旬（予定）。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、掲載誌名・巻次・編集者名・論文頁数も記して下さい。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

▶送付先：東洋音楽学会 第43回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号

(Fax) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

※ご連絡の受け取り確認などは遅れる可能性もあります。

選考委員：(再任) 奥中康人、高瀬澄子、濱崎友絵

(新任) 遠藤徹、佐本英規

日本学術振興会育志賞の学会推薦について

2025年4月13日(日)に行われた第26回通常理事会において、令和7年度日本学術振興会育志賞の学会推薦に中川優子さんが選出されました。育志賞は平成21年に当時の天皇陛下からの御下賜金によって、優秀な大学院博士課程の学生を顕彰するために創設された賞です。対象分野は人文学、社会科学、自然科学にわたる全分野で、大学院博士課程に在学している34歳未満が対象です。当該大学長、所属する学会長からの推薦をうけて、日本学術振興会が設置した選考委員会によって16名程度が選考されます。本学会では、機関誌における論文または研究ノートの掲載実績、大会や例会での発表実績等を勘案して、理事会議決を経て推薦することになっています。中川優子さんは機関誌第89号に掲載された論文、第72回大会発表、第137回東日本支部定例研究会での発表が評価されて今回学会推薦に選出されました。

会員の受賞

本学会会員の田中悠美子さんによる「田中悠美子リサイタル 2024～義太夫三味線の音響世界」に、第24回(2024年度)佐治敬三賞が授与されました。この賞は、公益財団法人サントリー芸術財団により、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるものです。おめでとうございます。

第26回通常理事会議決事項のお知らせ

2025年4月13日（日）に、ふれあい貸し会議室 神保町Aおよびweb会議システムZoomを用いて第26回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会（2024年11月17日）以降に申し込みのあった正会員10名、学生会員7名の入会が正式に承認されました。

2) 令和7年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 令和7年度事業計画の件

【添付書類1】の通り承認されました。

4) 令和7年度収支予算の件

【添付書類2】の通り承認されました。

5) 第42回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

6) 第43回田邊尚雄賞選考委員について

奥中康人、高瀬澄子、濱崎友絵（以上、留任）、遠藤徹、佐本英規（以上、新任）の5氏に委嘱することが承認されました。

7) 令和7年度日本学術振興会育志賞の学会推薦について

本号の関連記事をご覧ください。

8) 長期会費滞納者については、各理事が可能な範囲で連絡をとることになりました。

9) 参事委嘱について

吉田梨乃氏への本部（総務）参事の委嘱が承認されました。

10) 今年度末（令和7年8月31日）での支部制度廃止に伴い、「支部規程」を9月1日付で廃止し、「定例研究会規程」（【添付書類3】）を新たに設けることが承認されました。

令和7年度以降の定例研究会について

令和6年度をもって支部が廃止されるのにもない、3支部長を中心に、これまでの定例研究会（例会）をさらに活性化し、発展させるやり方を考えています。以下に、その概要についてお知らせいたします。

廃止される支部委員会に代わり、各支部委員会を統合して研究企画委員会を設置し、例会の企画運営をおこないます。委員会内に地区ごと（東日本・西日本・沖縄）の部会（仮）を設置して、地区を超えた情報の共有と交流に努めつつ、各支部が築いてきた地域的なネットワークを生かした開催をある程度維持していく予定です。

例会の告知は、メーリングリストと学会ウェブサイトを中心にこなします。例会報告については会報および学会ウェブ

サイトへの掲載を予定しています。対面・ハイブリッド等の開催形態については、対面での緊密な議論およびオンラインによる多くの会員の交流の可能性を考慮しつつ、実情に応じてその都度決定します。

1年度中の例会開催回数は10回以上として、3回程度を3地区合同、7回程度を各地区担当（東日本3回、西日本3回、沖縄1回程度）で開催する予定です。新たに全国共通の例会開催回数（第1回～）を付す予定です。また、これまで例会が開催されてこなかった地方での開催を実現するため、運営の補助要員を派遣することも検討しています。希望がある場合はご相談ください。

例会は、学会の研究活動の重要な柱の1つです。会員の皆さまが進めている研究プロジェクトに基づく企画、地区を横断する企画、実演をともなう企画、特定の地域に根ざした企画など、会員の皆さまからの積極的な例会企画の提案をお願いいたします。企画の提案をいただく際は、今年度中は所属の支部にご連絡ください。

名簿情報登録フォーム回答のお願い（全会員）

本年は学会名簿作成の年にあたります。新しい名簿は、本年8月発行予定の機関誌に同封されます。

現在の名簿情報からの変更の有無を、6月20日（金）までに、名簿情報登録フォームから回答してください。回答フォームの接続アドレスは、この会報をメール配信で受け取った方はメール本文に、郵送で受け取った方は同封した別紙に記載してありますのでご確認ください。インターネットを使用した回答ができない方は、学会事務局宛にファックス等で名簿情報（氏名・住所・電話番号・ファックス番号・電子メールアドレス・所属／勤務先・専門分野）の変更の有無について回答をお願いします。ご質問は情報委員会（togictmt@gmail.com）宛にお送りください。

会員名簿は会員相互の円滑な連絡のために作成するものです。住所・電話番号・電子メールアドレスのうち少なくとも1つは公開をお願いしています。また、支部廃止に伴い、住所のうち都道府県については、必ず名簿に掲載することとなりました。ご理解のほどお願い申し上げます。

名簿作成にあたっては細心の注意を払いますが、会員の皆様におかれましても、個人情報保護のために名簿の管理についてはどうぞご留意ください。

会報の郵送停止とメール配信への移行について

令和 5 年（2023）5 月発行の会報第 118 号より、希望者にはメール配信で会報をお届けしてきました。社会の電子化が進み、メールアドレスを利用する会員が多くなりましたので、令和 8 年（2026）1 月発行の会報 126 号より、メールアドレスを持っている会員への会報郵送を停止します。印刷費や郵送料の経費を削減して、他の学会活動のために充てたいと考えました。ご理解のほどお願い申し上げます。電子メールアドレスでの会報受信が難しい方は、学会事務局宛にその旨をお申し出ください。簡易コピー版の会報を郵送する形で対応いたします。

なお、9 月号は大会プログラムと一緒に全会員に郵送でお届けします。

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせなど

1. 会費納入のお願い

2024 年 9 月から新しい年度（2024 年度）が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8000 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6000 円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723 [加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九（ゼロイチキュウ）店 (019) [当座] 0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル (PayPal) によるオンライン決済でも会費が納入できます。学会ウェブサイトのトップページ (<http://tog.a.la9.jp/>) の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開設すると送金できます (アカウント開設費無料)。なお、オン

ライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下のようになります。

正会員：8350 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6280 円

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生（博士課程・修士課程）・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ (<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>) でご確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち 8 月 31 日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利（研究会・大会での発表、学会の発行物の受取）が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご理解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第 91 号（2026 年 8 月刊行予定）の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および「投稿の手引き」（学会ホームページにも記載あり）をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」および「投稿の手引き」は機関誌編集委員会でご訂正を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください（投稿原稿の送付方法が、郵送からメールに変更されています）。

分量の限度の守られない投稿がしばしば見受けられます。各原稿の字数制限は、本文、注、文献表、譜例、図表、写真などを含むものとなっておりますので、ご注意ください（投稿の際は、必ず字数を明記してください）。

送付方法：メールに PDF と MSWord の文書を添付の上でお送りください。メールでの送付が難しい場合には、編集委員

会または学会事務局へご相談ください。

送付先：東洋音楽学会機関誌編集委員会
(tog.kikanshi@gmail.com) と東洋音楽学会事務局
(LEN03210@nifty.com) の2か所にお送りください。

締切：2025年11月28日（金）必着

ICTMD (国際伝統音楽舞踊学会) に関するお知らせ

1) 第48回 ICTMD 世界大会の報告

日時：2025年1月9日～15日

開催地：Te Herenga Waka, Victoria University of Wellington,
Wellington, New Zealand

テーマ：

- 1) Indigenous Peoples' Music and Dance
- 2) Environment, Place, Displacement, and Relocation
- 3) Translation, Inclusivity, Reception
- 4) Dance, Movement, Gesture, Embodiment
- 5) Technologies of Sound, Music, Movement, and Dance
- 6) Alternative Approaches and Methods to Research, Education, and Knowledge Dissemination
- 7) New Research

1日目には Jerome Kavanagh 氏、Ruiha Turner 氏の基調講演 “Oro Atua Wānanga Rongoā Puoro | Reviving Ancestral Sound Practices in Modern Times” があった。その他の個人発表、ラウンドテーブル、映画上演など、合計740名の参加者があり、充実した大会となった。

大会の詳細は、大会 URL (<https://easychair.org/smart-program/ICTMD2025/program.html>) をご覧ください。

2) ICTMD 第49回大会は以下の通り開催されます。

日時：2027年1月14日～20日

開催地：Universidad Alberto Hurtado, Santiago, Chile

詳細は <https://www.ictmusic.org/ictmd2027> をご覧ください。

3) ICTMD 東アジア音楽研究会 (Study Group on Musics of East Asia) の第8回シンポジウムは以下の通り開催されます。

日時：2026年夏（未定）

開催地：国立台湾師範大学

詳細は <https://www.ictmusic.org/studygroup/mea> をご覧ください。

東洋学・アジア研究連絡協議会主催国際会議の企画募集

東洋音楽学会が参加している東洋学・アジア研究連絡協議会が、2026年度に国際会議を下記の通り開催することとなり、2日目の分科会の企画募集の連絡が各所属団体宛にありました。参加条件は、科学研究費等を利用して、分科会参加者の旅費や滞在費、海外学者の招聘費用を出せることで、原則一つの学会から一企画を上限として推薦を受け付けるとのことです。東洋音楽学会として、分科会の企画を募集します。2025年9月26日（金）までに企画概要を学会事務局（LEN03210@nifty.com）宛にご提出ください。10月初旬開催の理事会での議決を経た上で、協議会に企画を提出します。

記

大会名称：The First International Conference of the Japan Liaison Council for Oriental and Asian Studies: Challenges from Classical Studies（東洋学・アジア研究連絡協議会第1回国際会議：古典学からの挑戦）

日時：2026年11月28日（土）・29日（日）（予定）

会場：東京大学本郷キャンパス内の各教室（予定）

※各分科会の所要時間は原則3時間（午前の部 / 午後の部）。教室が1年前になるまで予約できないため、分科会の企画が多数提出された場合、確保できた教室数との関係で調整を行う可能性がある。

以上

RILM（音楽文献目録）委員会からのお知らせ

◇『音楽文献目録オンライン』の状況

『音楽文献目録オンライン』では、事務局に情報が届いた最新の文献については、2024年4月迄に選定された分までの文献の公開が行われています。それ以降に選定した文献も逐次公開される予定です。また、過去の冊子体の目録も含めて検索・閲覧できるように遡及入力を行っており、既刊の『音楽文献目録』40号～47号（2012年～2019年）までの文献をWebで公開中です。

『音楽文献目録オンライン』上の広告は2022年4月1日から開始し、新たな広告枠を引き続き募集（5,000円～）しています。また冊子体の遡及入力のための基金を募集していま

す。ご協力をよろしくお願いいたします。

◇東洋音楽学会会員の『音楽文献目録オンライン』へのアクセス

本学会会報122号に同封された別紙に『音楽文献目録オンライン』にログインするためのIDとパスワードが掲載されています。それらを入力してアクセスしてください。会員限定情報であるため、今後会報には掲載しないこととなりました。IDおよびパスワードについてのお問い合わせは、情報委員会（togictmt@gmail.com）までお送りください。

東日本支部からのお知らせ

1. 定例研究会のお知らせ

東日本支部では、2025年6月7日（土）に第146回定例研究会（博士論文発表、その他）を武蔵野音楽大学にて開催いたします。

詳細は<http://tog.a.la9.jp/higashi/index.html>をご覧ください。

2. 定例研究会のお知らせ

東日本支部では、2025年7月5日（土）に第147回定例研究会（内容未定）をオンライン会議システムのZoomを使用して開催いたします。参加は事前申込制です。詳細は<http://tog.a.la9.jp/higashi/index.html>をご覧ください。

3. 「東日本支部だより」の配信について

東日本支部では、原則として11月、3月、6月に、支部だよりを学会ウェブサイトから配信しています。最新号の発行は、学会メーリングリスト（ML）で告知し、URLを送信します。適宜アクセスのうえ閲覧し、必要に応じてダウンロード、印刷を行ってください。学会MLに参加していない方は、名簿作成のための登録フォームからメールアドレスを登録してください。詳しくは4ページの「名簿情報登録フォーム回答のお願い（全会員）」をご覧ください。

水野信男先生を悼む

斎藤完

私が水野先生と関わるようになったのは、先生の研究人生において最晩年にあたる時期であったろう。

それまでまったく面識がなく、唯一の接点と言えば、先生が2004年に発表された『音楽のアラベスク：ウンム・クルスームの歌のかたち』（世界思想社）に書評を書かせていただいたくらいであった（『東洋音楽研究』70号）。この著作は大抵

大学に提出した学位論文『ウンム・クルスーム：ウンマのなかの音』が元になっている。

もちろんそれ以前からお名前は存じ上げていた。中東の音楽を志す者にとっては目指すべき大先輩であり、先生の書かれた著作物にはあらかじめ目を通していた。さらに、私が山口大学に赴任してからは、先生が編纂された『山陰のわらべうた』（「山陰のわらべうた」刊行会、1981年）に触れる機会にも恵まれた。同書を通じて、遅ればせながら（20年以上もあとになって）、先生が島根大学に奉職されていたのを、知った次第である。

2005年、その水野先生ご本人から水野科研へのお誘いを受けた。「イスラム世界の形成過程におけるアラブ音楽創出メカニズムの解明（2008 - 2010）」という研究課題で、私は自分の能力を省みず、参加させていただき、日本における中東音楽研究の最前線に加わることとなった。何の臆面もなく「最前線」としたのは、本科研の成果として結実した『アラブの音文化 グローバル・コミュニケーションへのいざない』（スタイルノート、2010年）が、本学会で第28回田邊尚雄賞を受賞したことに明らかであろうと判断したからである。この科研は「中東・北アフリカ地域における音文化の越境と変容に関する民族音楽学的研究（2012 - 2015）」に引き継がれ、その成果も『中東世界の音楽文化 うまれかわる伝統』（スタイルノート、2016年）として出版されている。

水野科研では西尾哲夫氏（民族学博物館）、堀内正樹氏（成蹊大学）、小田淳一氏（東京外語大学）といった、音楽以外を専門とする研究者たちとともに多角的に分析・考察する機会を得た。こうした他分野で活躍されている方々との共同研究は、水野先生の研究業績のみならず、温和で寛大なお人柄の賜物であると言って差し付けないだろうと思う。

島根大学教育学部、そして兵庫教育大学などに籍を置かれてきた先生に、音楽学分野における「お弟子」がいるかどうかは寡聞にして知らない（国立民族学博物館教授も併任されていたとのことだが、追悼の辞を述べる機会が私に与えられたことから察するに、おそらく該当する研究者はいないのであろう）。もちろん私も弟子筋の者ではないが、水野先生のおかげで出版社との繋がりを持つことができ、大変感謝している。私以外にも飯野りさ氏など数名が、私と同じように水野先生の恩恵に預かっているはずである。

この場を借りて深く御礼申し上げるとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げたいと強く思う。

先生、どうもありがとうございました。どうか安らかにやすみください。

会員異動

個人情報のため削除

図書・資料等の受贈

（2024年12月～2025年4月、到着順）

- 『民俗芸能研究』第76号 民俗芸能学会
『楽道』12,1,2,3月号 (公財)正派邦楽会
『東方學會報』No.127 (一財)東方学会
『信仰と音楽は国境を越えて——オーストリアにおけるアレ
ヴィーの儀礼実践と継承』 鈴木麻菜美 春風社
『語りあいひらける世界——みんぱく五十年の歩み』
国立民族学博物館
『書店・私鉄・住宅から読み解く近代日本のピアノの普及』
齊藤紀子 港の人
『ピアノと暮らす——日本におけるクラシック音楽文化の受
容と展開』 本間千尋 晃洋書房
『佐原囃子集成 第四版』佐原囃子連中創立七十七周年記念出
版 佐原囃子保存会会員 佐原囃子連中
『オーケストラと日本人』叢書ビブリオムジカ
井上登喜子 アルテスパブリッシング
『ラヴェル著述選集』
モーリス・ラヴェル 笠羽映子 編訳 法政大学出版局
『阪大音楽学報』第21号 大阪大学音楽学研究室
『音楽学』第70巻2号 日本音楽学会
『日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメント
ハンドブック』令和3年度文化庁大学における文化芸術推進
事業
『日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメント
ハンドブックⅡ～フィールドからまなび、ともにつくり、地
域へつなぐために～』令和6年度文化庁大学における文化芸
術推進事業 東京音楽大学文化庁補助事業推進室
『コロナ下での芸能実践——場とつながりのレジリエンス』
吉田ゆか子・増野亜子 編 春風社
『伝統と創造：東京音楽大学付属民族音楽研究所研究紀要』
Vol.14 東京音楽大学付属民族音楽研究所

新刊書籍

（ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物）、価格（税込）

『愛と孤独のフォルクローレ——ボリビア音楽家と生の人類学』
相田豊、世界思想社、4,950円

『アストル・ピアソラ——闘うタンゴ(上・下)』斎藤充正、青土社、各6,820円

『集まる民具、集める人——民具収集の文化人類学的考察と「緩やかな保存」』川邊咲子、春風社、5,500円

『アモローゾ——ジョアン・ジルベルトの人と音楽』ズーザ・オーメン・ヂ・メロ(著)、国安真奈(訳)、アルテスパブリッシング、3,740円

『アルベニス——生涯と作品』上原由記音(著)、石田一志(監)、音楽之友社、4,400円

『今に伝える韓国の宗家祭祀——朴玖写真集』
高麗大学校文科大学朴玖写真集刊行委員会(編)、朴玖(写真)、金津日出美(訳)、3,300円

『歌の女神と学者たち——イタリア・オペラの上演(上巻)』フィリップ・ゴセット(著)、岸純信(訳)、八千代出版、8,800円

『うまくなろう！オーボエ[新版] (Band Journal Book)』茂木大輔、音楽之友社、2,200円

『エチオジャズへの蛇行』川瀬慈、音楽之友社、2,970円

『越境する歌舞伎——戦前・戦後の小芝居と女役者』浅野久枝、春風社、5,500円

『演劇と音楽の創作ワークショップ——アートへの回路をひらく座学・実践12日間』岡本佳子ほか(編著)、東京大学出版会、3,740円

『オーケストラと日本人(叢書ビブリオムジカ)』井上登喜子、アルテスパブリッシング、3,080円

『オンカク——音楽家、指導者、フリーランスのための確定申告・税金ガイド[2025改訂版]』

栗原邦夫、音楽之友社、1,540円

『音楽史を学ぶ——古代ギリシャから現代まで[増補改訂版]』久保田慶一(編著)、教育芸術社、990円

『音楽家に「敬礼！！」——元隊長が語る自衛隊音楽隊の真骨頂』樋口孝博、音楽之友社、1,980円

『音楽で「良い子」は育てられるのか——「情操」から読み解く音楽教育史(春秋社音楽学叢書)』山本耕平、春秋社、3,080円

『音楽でつながる——日本とアジア・都市と周縁・近世と近現代』塚原康子先生東京藝術大学退任記念論文編集委員会(編)、音楽之友社、6,600円

『カラー図解 和楽器の世界[新装版]』西川浩平、河出書房新社、2,750円

『管楽器の音響学——管楽器はどのようにして鳴るのか』吉川茂ほか、ヤマハミュージックメディア、6,050円

『観客が生み出すアートマーケティング——芸術祭と地域をコミュニケーションでつなぐ(アルス双書)』佐野直哉、水曜社、2,530円

『教養としてのジャズ——時代と境界を超える「音楽」のすべて』村井康司(監)、世界文化社、1,870円

『近代日本と西洋音楽理論——グローバルな理論史に向けて』西田結子、仲辻真帆、塚原康子ほか、音楽之友社、2,970円

『紅は濡れて色増す土佐風流踊と歌謡の歴史——消滅する呪的心性』井出幸男、三弥井書店、11,000円

『芸能の力学——山と水と、そして、芸能の力早池峰神楽研究』森尻純夫、書肆梓、2,750円

『コラーゴ——オペラ黎明期の舞台上演責任者』萩原里香、法政大学出版局、5,500円

『コロナ下での芸能実践——場とつながりのレジリエンス』吉田ゆか子、増野亜子(編)、春風社、3,850円

『最新研究による高齢者音楽療法』貫行子(監)ほか、音楽之友社、2,970円

『三月一日のシューベルト——音楽批評の試み』松木篤也、音楽之友社、2,860円

『ジャワ王宮舞踊——無形文化遺産の伝承』岡部政美、風響社、4,400円

『上海、対岸のヨーロッパ——租界と日本をつなぐ芸術家群像』井口淳子、岩波書店、2,970円

『書店・私鉄・住宅から読み解く近代日本のピアノの普及』齊藤紀子、港の人、3,960円

『世界史×音楽史 知っておきたい！近代ヨーロッパ史とクラシック音楽』広瀬大介、音楽之友社、2,970円

『ゼルダの伝説と音楽——「時のオカリナ」から学ぶゲームサウンド』ティム・サマーズ(著)、小川公貴(訳)、DU BOOKS、3,740円

『「大大阪」が育んだ芸能—佐藤家所蔵 北陽浪花踊関係史料』笠井純一・笠井津加佐(編) 清文堂出版、10,450円

『崔承喜と現在』徐希寧、クレイン、3,520円

『中国青海省・漢民族の葬送儀礼——死をめぐる民俗誌』李生智、七月社、6,600円

『聴取の詩学——粹と出来事(庄野進音楽美学論集)』庄野進、春秋社、4,620円

『伝説のハンドメイドアナログシンセサイザー——1970年代の自作機が蘇る』山下春生、誠文堂新光社、4,400円

『東北の民俗歴史——儀礼・祭礼・芸能』菊地和博、清文堂出版、10,450円

『能の桜——花がいざなう能楽鑑賞』宝生和英(監)、ジボーリン福島菜穂子(著)、八坂書房、1,980円

『「野ばら」154曲の謎——伝説のテレビ番組「童は見たり」取材記録』長沼修ほか、音楽之友社、3,190円

『万博の世紀のインド舞踊』河野亮仙、22世紀アート、2,860円
『ピアノと暮らす——日本におけるクラシック音楽文化の受容と展開』本間千尋、晃洋書房、4,180円

『秘境アジア探訪記——ゾミアの少数民族フィールドワーク』金子遊、アーツアンドクラフツ、2,640円

『比婆荒神神楽の社会史——歴史のなかの神楽太夫』鈴木昂太、法蔵館、7,700円

『北東・中央アジア民族百科事典』
ジェームズ・B. ミナハン(著)、猪口孝(日本語版監修)、村田綾子(訳)、柊風舎、15,400円

『まるごとフルートの本』町井亜衣、青弓社、1,980円
『民俗芸能に残る古猿楽の芸能』山路興造、岩田書院、1,980円
『名曲の曲名』茂木大輔、音楽之友社、1,980円

『めざせ！和音マスター——響き×楽典のトレーニングブック』
市川景之、音楽之友社、2,420円

『もし君が君を信じられなくなっても——不登校生徒が集まる音楽学校』毛利直之、首藤享之、西日本新聞社、1,760円

『モノからみた宗教の世界』八木百合子(編)、春風社、3,850円
『許される連続5度——理論の禁則を超える作曲家たち』西尾洋、音楽之友社、3,300円

『リベラルアーツと芸術』石井洋二郎、鈴木順子(編)ほか、水声社、2,750円

新発売視聴覚資料

『かがやき音頭／ドダレバチ（津軽甚句）』藤みち子ほか、VZCG-10590、1,500円

『紀伊の国 栄芝の端唄～「第十三回栄芝の会」より』栄芝、本條秀太郎、VZCG-853、1,980円

『島うた哀歌 ～芸道50周年記念CD』仲宗根充、KOKU3-0279、2,750円

『島唄一途[リマスター版]』神谷幸一、FCD-108re、2,934円

『2025年度（第61回）日本コロムビア全国吟詠コンクール課題吟 曙椿』日本コロムビア吟詠音楽会、COCJ-42441、3,000円

『民謡傑作選～九州・沖縄編』COCF-18284、1,980円

『民謡傑作選～中部・近畿編』COCF-18283、1,980円

『八重山古典民謡舞踊曲集 2』仲宗根充、KOKU3-0280、6,050円

『令和7年 総おどり曲集 ハナミズキ／浪花酔虎伝』COCJ-42440、1,700円

編集後記

会報第124号をお届けします。今号には、秋に行われる第76回大会の情報や、4月13日に開催された第25回通常理事会のご報告があります。また、今年は学会名簿作成の年にあたります。今号にもお知らせがありますが、第126号より、会報は9月号を除いてメール配信が基本となりますので、あらためて全員の方に名簿情報登録フォームにご回答いただきたく、よろしくお願いします。

さて、今年の大会は6年に一度の沖縄開催です。どうぞ奮ってご参加ください。会報担当といたしましては、発表の傍聴記を書いてくださる方を探すのに一苦勞の時期でもあります。記録の観点からも、また、傍聴記を楽しみにしていますので、お若い方も、また、ご専門分野からは少し外れる内容であっても、ぜひ執筆にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

高松晃子

編集委員会、

理事：土田牧子、高松晃子

参事：井上環、今泉佳奈、神田花菜子、倉地真梨、玉置彩乃、吉岡倫裕

第26回通常理事会添付書類

〔添付書類1〕

令和7年度(2025年度)事業計画

(自令和7年(2025年)9月1日 至令和8年(2026年)8月31日)

〔1〕研究発表会および学術講演会の開催(定款第5条1)

(1)公開講演会の実施(定款施行細則第3条1)

- ・日時 2025年11月30日
- ・会場 沖縄県立芸術大学
- ・課題 「伝世する古楽器の保存と活用 ―紀州徳川家楽器コレクションを例に―(仮題)」

(2)研究発表大会の実施(定款施行細則第3条2)

- ・日時 2025年11月29日・30日
- ・会場 沖縄県立芸術大学

(3)次年度大会の準備

- ・日時 2026年10月または11月
- ・会場 未定

(4)定例研究会(定款施行細則第3条3)

- ・回数10回 第1回～第10回(9・12・1・2・3・4・5・6・7・8月)
東日本地区3回程度、西日本地区3回程度、沖縄地区1回程度、3地区合同3回程度
- ・会場 国際基督教大学ほか、およびオンライン開催
- ・内容 研究発表、卒業論文・修士論文・博士論文発表ほか

〔2〕学会誌および学術図書の刊行(定款第5条2)

(5)機関誌『東洋音楽研究』の刊行(定款施行細則第3条4)

○第91号の編集・刊行

- ・内容 会員の論文、研究ノート、資料、書評ほか

(6)会報の刊行

○『東洋音楽学会会報』

- ・第125号(2025年9月)、第126号(2026年1月)、第127号(2026年5月)
- ・内容 会員への諸通知、理事会・総会記録、大会開催案内、大会レポート、例会レポート、
図書・視聴覚資料紹介、会員消息

〔3〕関連学協会との連絡および協力(定款第5条3)

(7)日本学術会議への協力

○日本学術会議協力学術研究団体として協力

(8)音楽文献目録委員会への参加

○会員三名を委員として派遣

(9)ICTMD(国際伝統音楽舞踊学会)への協力

○日本国内委員会として加盟

(10)東洋学・アジア研究連絡協議会への参加

○会員一名を委員として派遣

〔4〕研究の奨励および研究業績の表彰(定款第5条4)

(12)「田邊尚雄賞」（定款施行細則第3条5）

○第42回田邊尚雄賞の授賞

・日時 2025年11月29日

・受賞者および授賞対象

1. 柴佳世乃『仏教儀礼の音曲とことば—中世の〈声〉を聴く—』（法蔵館、2024年2月28日発行）

ISBN978-4-8318-6283-9

2. 山田淳平『近世の楽人集団と雅楽文化』（吉川弘文館、2024年5月1日発行）

ISBN978-4-642-04363-2

○第43回田邊尚雄賞の選考と発表

〔5〕研究および調査（定款第5条5）

(13)国内または国外における学術調査および研究

とくになし

〔6〕その他目的を達成するために必要な事項（定款第5条6）

(14)東洋音楽学会ホームページを通して行なう学会情報の提供

(15)独立行政法人科学技術振興機構（JST）電子アーカイブ事業への参加

(16)「人間文化研究機構国立民族学博物館との連携に関する協定」の遂行

〔添付書類2〕

収 支 予 算 書

令和7年9月1日から令和8年8月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	500	500	0	
基本財産利息収入	500	500	0	
特定資産運用収入	100	100	0	
特定資産利息収入	100	100	0	
入会金収入	0	0	0	
会費収入	3,870,000	3,870,000	0	
正会員会費収入	3,600,000	3,600,000	0	
賛助会員会費収入	150,000	150,000	0	
特別会員会費収入	120,000	120,000	0	
事業収入	974,500	1,262,000	△ 287,500	
機関誌発行収入	350,000	350,000	0	
大会広告料収入	300,000	365,000	△ 65,000	
大会参加費収入	324,500	377,000	△ 52,500	
懇親会費収入	0	120,000	△ 120,000	
食料費収入	0	50,000	△ 50,000	
その他事業収入	0	0	0	
補助金等収入	0	0	0	
負担金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	4,845,100	5,132,600	△ 287,500	
2. 事業活動支出				
事業費支出	5,911,500	6,569,000	△ 657,500	
給料手当支出	1,200,000	1,200,000	0	
臨時雇賃金支出	96,000	340,000	△ 244,000	
法定福利厚生費支出	5,000	5,000	0	
旅費交通費支出	680,000	277,000	403,000	
通信運搬費支出	500,000	647,000	△ 147,000	
消耗什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費支出	30,000	52,000	△ 22,000	
賃借料支出	820,000	820,000	0	
印刷製本費支出	460,000	599,000	△ 139,000	
諸謝金支出	265,000	300,000	△ 35,000	
租税公課支出	10,000	10,000	0	
負担金支出	202,000	202,000	0	
会議費支出	20,000	51,000	△ 31,000	
広報普及費支出	430,000	430,000	0	
田邊尚雄賞関連費支出	130,000	130,000	0	
会場運営費支出	50,000	150,000	△ 100,000	
機関誌作成費支出	800,000	800,000	0	
例会運営費支出	100,000	305,000	△ 205,000	
懇親会費支出	0	120,000	△ 120,000	
保険料支出	0	0	0	
事務委託費支出	0	0	0	
食料費支出(雑支出①)	60,000	60,000	0	
慶弔費支出(雑支出②)	20,000	20,000	0	
手数料支出(雑支出③)	20,000	26,000	△ 6,000	
雑支出(雑支出④)	13,500	25,000	△ 11,500	
管理費支出	530,000	530,000	0	
事務委託費支出	530,000	530,000	0	
事業活動支出計	6,441,500	7,099,000	△ 657,500	

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
法人税等の支払額	0	0	0	
事業活動収支差額	△ 1,596,400	△ 1,966,400	370,000	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	0	0	0	
特定基金取崩収入	1,600,000	1,967,000	△ 367,000	
田邊尚雄賞基金取崩収入	130,000	130,000	0	
研究推進事業基金取崩収入	1,470,000	1,837,000	△ 367,000	
固定資産売却収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
敷金・保証金戻収入	0	0	0	
投資活動収入計	1,600,000	1,967,000	△ 367,000	
2. 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
敷金・保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,600,000	1,967,000	△ 367,000	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
基金受入収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
基金返還支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出				
予備費支出	△ 3,600	△ 600	△ 3,000	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

〔添付書類3〕

一般社団法人 東洋音楽学会定例研究会規程

（趣旨）

第1条 この規程は、定例研究会の運営について必要な事項を定めるものとする。

（運営）

第2条 定例研究会は研究企画委員会によって運営される。

2 研究企画委員会は、地区担当理事と研究企画委員によって構成される。

3 研究企画委員会は、参事を置くことができる。

（地区担当理事）

第3条 地区担当理事は、理事の中から理事会が選任する。

2 理事会は、地区担当理事の中から委員長1名を選任する。

3 研究企画委員長は、定例研究会の事業と経理について総理するとともに、これらについて理事会に報告するものとする。

4 必要に応じて地区担当理事の中から副委員長をおくことができる。

5 副委員長は委員長の業務の補佐を行う。

（研究企画委員）

第4条 研究企画委員は、理事会でこれを選任し、会長が委嘱する。

2 委員の任期は、選任した理事会理事の任期と同じとする。

第5条 研究企画委員の定数は定めない。

第6条 研究企画委員は、地区担当理事とともに、定例研究会に関する事業を執行する。

（会議）

第7条 研究企画委員会は研究企画委員長が招集する。

2 委員会には、参事を出席させることができる。

附則

1 この規程は令和7年9月1日より施行する。

時代や社会とともに移り変わる西洋音楽の世界と
洋楽導入以降の日本の西洋音楽の歩みを
7つの視点で全200項目にわたって詳しく解説

久保田慶一 編著

執筆：上野大輔、小山文加、黒川照美

増補改訂版では、現行本では十分な記述がなかったアメリカ音楽史を大幅に加筆し、さらに2019年末頃からはじまったコロナ・パンデミックなど、近年の世界の状況についての説明も追加しました。

●音楽史を立体的に描き出す7つの視点

時代と社会／音楽史の流れ／トピック／コラム／聴いておきたい
名曲／知っておきたい音楽用語／まとめと今後の勉強のために

ほか、絵画や写真も280点掲載！

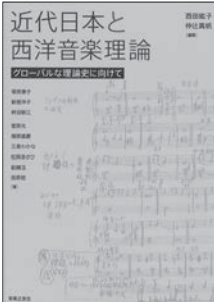


定価：990円(本体900円+税10%)
B5判／216ページ(カラー口絵4ページ)
ISBN978-4-86779-067-0



株式会社 教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-14
TEL.03(3957)1177 / FAX.03(3957)9223
URL <https://www.kyogei.co.jp/>



定価2970円
A5・192頁
ISBN978-4-276-10104-3

近代日本と西洋音楽理論

グローバルな理論史に向けて

西田紘子、仲辻真帆 編著

西洋の音楽理論は、我が国でどのように導入され、いかなるかたちで展開、変化してきたのか。複数の地域を対象として、領域横断的にこのテーマにせまる。



定価 6600円
A5・436頁
ISBN978-4-276-11023-6

音楽でつながる

日本とアジア・都市と周縁・近世と近現代

塚原康子先生東京藝術大学
退任記念論文集編集委員会 編

塚原康子教授と、同大学院音楽研究科の日本音楽史研究室において塚原康子先生の下に学び、藝大やその他の大学院で博士号を取得した卒業生を中心に執筆した、研究論文集。



音楽之友社

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30
<https://www.ongakunotomo.co.jp/>

TEL: 03-3235-2151
FAX: 03-3235-2148

〈音楽指導ブック〉

アクティブに楽しく学ぶ世界の音楽

組み合わせて使える教材ユニット集

田中多佳子 編著／
大田美郁、加藤富美子、権藤敦子、本多佐保美 著

定価2860円／B5・160頁 ISBN978-4-276-32178-6

〈オルフェライブラリー〉 小島美子・藤井知昭記念日本民俗音楽学会賞受賞

民謡とは何か？

島添貴美子 著

定価2750円／四六・224頁 ISBN978-4-276-37114-9

〈オルフェライブラリー〉

声の世界を旅する

増野亜子 著

定価2750円／四六・232頁 ISBN978-4-276-37109-5

〈オルフェライブラリー〉

新版 雅楽入門

増本伎共子 著

定価2640円／四六・264頁 ISBN978-4-276-37104-0

日本音楽基本用語辞典

音楽之友社 編

定価1980円／A5・192頁 ISBN978-4-276-00182-4

唱歌で学ぶ日本音楽 (DVD付き)

日本音楽の教育と研究をつなぐ会 編著／徳丸吉彦 監修

定価3630円／B5・128頁+DVD2枚 ISBN978-4-276-32170-0

よくわかる日本音楽基礎講座

～雅楽から民謡まで 増補・改訂版 福井昭史 著

定価2640円／B5・160頁 ISBN978-4-276-32168-7

※定価（本体価格＋税10%）

※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

主要音楽配信サービス(ストリーミング・ダウンロード)にて好評配信中

正調郡上おどり

郡上踊保存会

かわさき/春駒/猫の子
やっちく/三百/古調かわさき
げんげんばらばら/まつさか



琉球古典音楽集成

唄・三線:城間徳太郎

かぎやで風節/恩納節/長伊平
屋節/中城はんだ前節/特牛節/
揚作田節/東里節/赤田花風節/
黒島節/そんばれ節/夜雨節/浮
島節/本田名節他

醍醐寺の声明

真言宗醍醐派総本山

醍醐寺醍醐山青年連合会

仁王会前行法要(四智梵語/大
日讃/不動讃/廻向/発願他)
恵印法要(前讃/理智不二界會
礼讃/九条錫杖/般若心経他)



現地録音による

中国少数民族音楽紀行 (総集編)

トン族の女声合唱/ハニ族の口
琴/プーラン族の男女の掛け
合い歌/モンゴル族の馬頭琴/
ウイグル族のナヴァイー・ガザ
ル歌唱アンサンブル/ヌー族の
讚美歌ほか全10曲



じゃぽオンラインストア
— 伝統を未来に —
<https://japo.murket.jp>

当財団では日本の伝統音楽・伝統芸能ジャンルに特化したオンライン
専門店〈じゃぽオンラインストア〉を開設。多様な音楽種目を有する
伝統邦楽と列島各地の民俗芸能を幅広くダウンロード販売中。

公益財団 **日本伝統文化振興財団**
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION